

2019年4月24日

各 位

上場会社名 太平洋興発株式会社  
 代表者 代表取締役社長 板垣 好紀  
 (コード番号 8835)  
 問合せ先責任者 経理部長 高橋 光幸  
 (TEL 03-5830-1602)

業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想を、下記のとおり修正するとともに、特別損失（減損損失）の計上を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,400	950	740	420	53.99
今回修正予想 (B)	35,900	920	740	280	35.99
増減額 (B - A)	1,500	△30	-	△140	
増減率 (%)	4.4	△3.2	-	△33.3	
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	36,135	989	830	508	65.31

(2) 修正の理由

2019年3月期の連結業績の売上高に関しましては、当社の輸入炭販売の販売価格が上昇したこと並びに連結子会社の建設工事の受注が増えたこと等の理由により、当初計画を上回る見込みであります。

また、連結業績の営業利益及び経常利益に関しましては、概ね当初計画通りとなる見込みであります。

しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結子会社である太平洋石炭販売輸送株の北海道釧路市で展開している石炭鉄道輸送事業について、2019年3月末をもって撤退を余儀なくされたことに伴い、当該鉄道輸送事業に係る固定資産（土地・車両運搬具等）について特別損失の減損損失を計上することとなったこと等により、当初の予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間30円00銭を予定しております。

## 2. 特別損失（減損損失）計上の理由

上記1.（2）修正の理由の通り、連結子会社である太平洋石炭販売輸送㈱の北海道釧路市で展開している石炭鉄道輸送事業について、2019年3月末をもって撤退を余儀なくされたことに伴い、当該鉄道事業に係る固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、その減少額を特別損失の減損損失として211百万円計上することといたしました。

また、同社の賃貸資産等の一部について、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善に時間を要することと判断されたことから、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、その減少額を特別損失の減損損失として70百万円計上することとなりました。

（内訳）

場所	用途	種類	減損損失計上額
北海道釧路市	石炭鉄道輸送用地 石炭鉄道輸送車両他	土地及び車両運搬具等	211百万円
北海道釧路市	賃貸地 給食事業用施設他	土地及び建物等	70百万円

以 上